

長野県南安曇農業高等学校の「3つの方針」

「農業や農業関連分野で地域社会を支える、科学的農業人の育成」

南農高校は、創立100周年を迎える中信地区唯一の単独農業高校として、これまで多くの人材を輩出してきました。特に、農業や土木・造園・食品・環境などの関連分野においては、卒業生が地域のリーダー的存在として活躍しています。自然豊かな安曇野の地で、これからもそんな人材を輩出する農業高校でありたいと考えています。

1. 生徒育成方針

南農高校は、農業教育を通して心身ともに健康で、思いやりの心を持ち、様々な課題に対して主体的かつ協働的に解決できる、新たな時代を創造する生徒を育成します。

そのために、「基礎的・基本的な学力」「実践的・体験的な農業学習を通して専門的な知識・技術」「地域の農業や関連産業と連携した学びにより課題解決力・創造力・コミュニケーション力」等を身につけます。

そして、3学科9コースの学びを生かした多様な進路を実現し、将来地域社会において、農業や農業関連分野をはじめとする産業界の中核となって活躍する人材となることを目指します。

2. 教育課程編成・実施方針

- ①「基礎的・基本的な学力」を育成するために、全ての授業で「わかる授業」を実践します。また、多様な進路実現のため、幅広い学びが選択でき、個々に応じた学力向上をサポートします。
- ②自然や命を扱う実践的・体験的な農業学習を通して専門的な知識・技術を習得し、さらにその意欲を養います。
- ③各学科2年次より、以下のようなコースを選択して、少人数で特色ある授業を展開します。
 - ・グリーンサイエンス科：フードコース、フラワーコース、フルーツコースの各コースに分かれて、栽培や栽培物の活用方法を学び、地域での実践を通して学習を深めます。
 - ・生物工学科：植物バイオコース、動物バイオコース、微生物バイオコースの各コースに分かれて、農業を科学的な視点から学び、さらに実践的な学習へと展開します。
 - ・環境クリエイト科：設計エンジニアコース、施工テクニカルコース、環境デザインコースに分かれて、自然を守り地域の景観に適した田園産業都市を創るための知識・技術を学びます。
- ④3年生全員が取り組む「卒論（探究的な学習の時間）」や農業クラブのプロジェクト研究への主体的な取り組みを通して、総合的な学力・創造力・課題解決の力を養います。
- ⑤地域農業や関連産業のエキスパートに実際に学ぶ機会を数多く設定し、また様々な資格取得に挑戦することによって、地域農業・地域社会に貢献するための知識と技術を習得します。
- ⑥各学年で計画的なキャリア教育を実施し、地域農業や関連産業への理解を深め、生徒自ら将来のビジョンを設計し、進路実現を図ります。

3. 生徒募集方針

- ①将来、地域社会に貢献するため、農業・食料・環境のスペシャリストを目指す意欲がある生徒。
- ②専門学習に取り組むため、中学までの基礎学力がある生徒。
- ③動植物や自然を愛し、思いやりのある生徒。
- ④地域を理解し、地域の人と協働して学ぶことが出来る生徒。
- ⑤屋内外での体験的・実践的な学びが多いため、主体的に実習や実験に取り組める生徒。
- ⑥進路実現のため、資格取得や検定への取り組みに意欲がある生徒。